

4 主要な教育研究設備

4.1 主要教育研究設備

飛驒天文台

60 cm 反射望遠鏡、65 cm 屈折望遠鏡、60 cm ドームレス太陽望遠鏡 (DST)、
太陽磁場活動望遠鏡 (SMART)

花山天文台

45 cm 屈折望遠鏡、70 cm シーロスタット太陽分光望遠鏡、
花山天体画像解析システム、18 cm 屈折太陽 H α 望遠鏡 (ザートリウス望遠鏡)

4.2 平成 25 年度の主な改修改良事項

(1) 飛驒天文台 計算機ネットワーク整備

SMART/FISCH の一時処理済みデータの保存を目的とした 4TB の内蔵 HDD を 8 台搭載可能な端末と、DST データ解析を主目的とした共同利用端末を新規に導入した。

(石井)

(2) 花山天文台 計算機ネットワーク整備

今年度は、主に、(1) 基幹サーバー更新、(2) 3 次元立体表示システム用パソコン更新、(3) ウィルス対策ソフトのライセンス更新、を行った。各事項を順に報告する。

(1) 基幹サーバー更新

2008 年度に導入した基幹サーバーが老朽化したため、更新を行った。サーバー (HP ProLiant DL360p 2 台、Dell PowerEdge R210II、Newtech CloudyII Server)、NAS (QNAP TS-669Pro 2 台)、FC スイッチ (QLogic SANbox 3810) を導入した。また、太陽観測データ公開用の RAID 装置 (Newtech SupremacyII) の増設も行った。

(2) 3 次元立体表示システム用パソコン更新

3 次元立体表示システム用のパソコンが故障して使用不能となったため更新した。既存のパソコンはデスクトップ型だったが今回はノート型を採用した。ただし、CPU 一体型でビデオ処理する機種ではパフォーマンスが不足するため、GeForce GT750M を搭載する機種を選定した (Dell Inspiron 15 7000)。この更新により、可搬性が増したため、天文台外へ移送して上映する出張上映をしやすくなった。

(3) ウィルス対策ソフトのライセンス更新

ウィルス対策ソフト (ESET Endpoint Protection Standard) の教育機関向けライセンスを、飛驒天文台と併せて計 100 ライセンス更新した。

(青木、西田)